

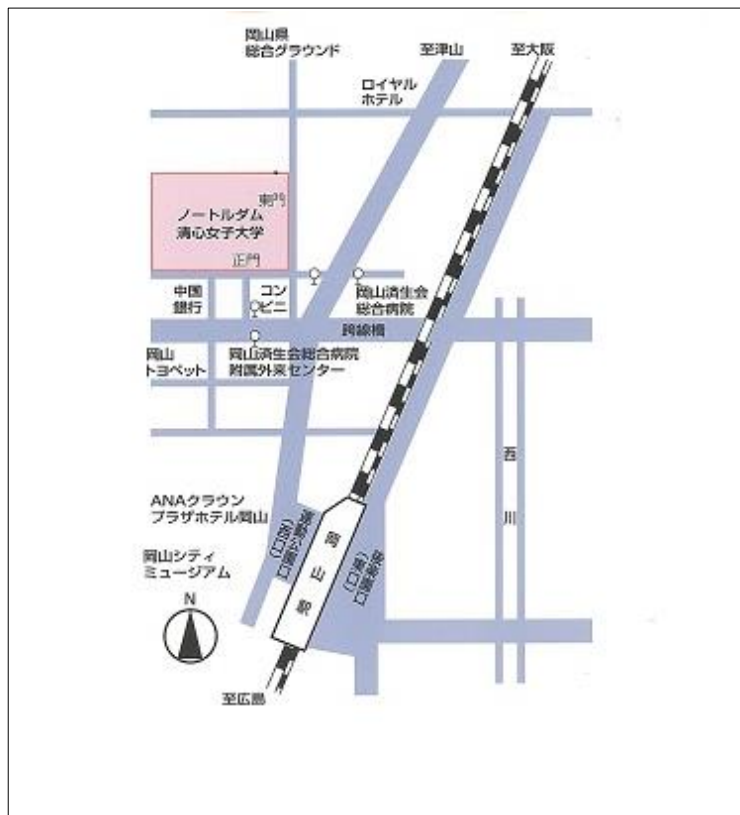
(15) ノートルダム清心女子大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	1期	2025年4月9日	～	2025年8月6日
	2期	2025年9月22日	～	2026年1月29日
試験期間	1期	2025年7月23日	～	2025年8月6日
	2期	2026年1月15日	～	2026年1月29日
授業時間	1時限	9:00	～	10:30
	2時限	10:45	～	12:15
	3時限	13:00	～	14:30
	4時限	14:45	～	16:15
	5時限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)

- JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分
- 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで「済生会病院前」下車
- 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



③ 担当窓口

学務部	
所在地:	〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9
電 話:	086-255-5583

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込期限は、前期:4月3日(木)まで 後期:9月11日(木)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

・ 履修手続

履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要ですので、附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部がご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

対面授業				15001
授業科目名:キリスト教学 I			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies I				
履修年次 1~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 死にたいと想うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望の光を見出し、それを作品に表わした人たちがいる。本授業ではそうした作品を導入とし、新約聖書と遠藤周作『イエスの生涯』をテキストにして、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音(喜びの知らせ)とはどのような精神、価値観をもつものかを考察することで、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、理解し、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、主体的に考える力を身につけることを目的とする。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を修得する。</p>				
<p>【授業内容】 1. 導入:現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち(星野富弘等) 2. 『新約聖書』の構成・風土的背景 3. イエスの生誕、クリスマスの意味 4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム 5. 神の国の福音宣教、公生活の開始 6. 奇蹟物語と慰め物語 7. イエスの祈り 8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争 9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告 10. 死を覚悟したエルサレムへの旅 11. エルサレム入城と最後の晩餐 12. イエスの受難と十字架の死 13. イエスの復活顕現物語 14. 現代人とイエスの福音 15. まとめ・(期末レポートについて)</p>				
<p>【テキスト】 <必携書>遠藤周作『イエスの生涯』(新潮文庫)、『聖書』</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】 ・リアクションレポート…45% ・期末レポート…55%</p>				

対面授業				15002
授業科目名:キリスト教学Ⅱ			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのかというよりも、歴史上に実在したナザレのイエスがどのような人物であったのかを、「史的イエス」研究を手がかりとして探究することにある。 具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とかカテゴライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えた言葉と具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の原点を捉えていく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書とは 3. イエスが生きた時代 4. イエスの幼年期 5. 洗礼者ヨハネとの出会い 6. イエスの自立 7. イエスがかがみ込んだ先の人々 8. イエスが起こした奇跡 9. イエスが説いた神 10. 律法学者たちとイエス 11. イエスが説いた愛と交わり 12. イエスの危機 13. イエスの受難と死、復活 14. わたしにとってのイエス:ある修道女の語り 15. わたしにとってのイエス:ある司祭の語り 				
<p>【テキスト】 『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】 ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年 本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 40% ・レポート 40% 				

対面授業				15003
授業科目名:キリスト教学X			担当教員氏名:岡田 紅理子	
Christian Studies X				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】</p> <p>キリスト教は社会のなかで生きてきた。しかし、その道のりは一定ではなかった。国家権力と緊密な関係を保っていた時代から、植民地・帝国主義時代や世界大戦をへた変革の時代のなかで、キリスト教が省察してきた人類社会に対する自らの態度、使命はいかなるもので、キリスト教は人類社会になにを訴えてきたのだろうか。</p> <p>本科目では、教皇の公文書である回勅、書簡、勸告のほか、公会議の憲章をはじめとするカトリック教会の諸文書を通じてキリスト教の価値観を学びながら、現代社会の社会、環境、生命をめぐる倫理的諸問題を考えていく。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. キリスト教の基本 3. キリスト教が示す倫理 4. 社会①教育と労働 5. 社会②開発と格差、貧困 6. 社会③戦争、暴力と平和 7. 社会④差別と基本的人権 8. 社会⑤他宗教との対話 9. 環境①自然と生きる人間 10. 環境②自然と科学技術 11. 生命①家庭と生殖 12. 生命②医療技術と人間の尊厳 13. 生命③自死 14. 生命④尊厳死と安楽死 15. 生命⑤死刑制度 				
<p>【テキスト】</p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ:ともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会、2016年 *その他は授業時に示す</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 40% ・レポート 40% 				

対面授業				15004
授業科目名:キリスト教学ⅩⅠ			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies ⅩⅠ				
履修年次 1~4	2 単位	2期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 自分が生きている意味と価値とを見出せないで苦しむ現代日本人に、人類の叡智である宗教的智がどのように応えることができるか。遠藤周作と共に日本の文化風土に根づくキリスト教、さらに現代の科学的世界観のなかで生きる日本人に実感できるキリスト教を探究した井上洋治神父の『日本人のためのキリスト教入門』を参考にしながら、宗教とは、キリスト教とは、神とは、信仰とは、生きるとは、死とは、愛とは、祈りとは…といった宗教的智を、実感をもって受け取れるように学び、それを踏まえて、キリスト教と日本文化の響き合いについて、宗教的平和について、そして自分が生きている意味と価値について考える。さらに、関連する聖書およびキリスト教についての基礎的知識を学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 1. 導入: 生き悩む現代日本人と宗教的智について 2. 宗教固有の世界 3. 「無」としての神 4. 絶えざる創造 5. 三位一体論とイエスの神アツバ 7. 日本におけるイエスの顔—母性的宗教と父性的宗教 8. キリスト教と文化 9. 救いの出来事としての復活 10. 日本文化の底を流れるものとキリストのからだ 11. 信仰とは何か 12. 愛とは何か 13. 祈りとは何か 14. 教皇フランシスコ「福音の喜び」「ラウダート・シ」との関連 15. まとめ</p>				
【テキスト】聖書				
【参考図書】 井上洋治著作選集 10『日本人のためのキリスト教入門』(日本キリスト教団出版局)				
【成績評価の方法】 リアクションペーパー45%、期末レポート55%				

対面授業				15005
授業科目名:キリスト教学XVI			担当教員氏名:山根 道公	
Christian Studies X VI				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 「愛は決して滅びない」「神は耐えられないような試練にあわせることはない」といった言葉は、新約聖書の中のパウロ書簡の言葉である。そうしたパウロ書簡と共に新約聖書の中の使徒言行録およびそれと関連する遠藤周作『キリストの誕生』をテキストにして読み、イエスの死後、イエスを見捨てて逃げた弟子たちが、イエスをキリスト(救い主)と呼び、迫害にも怯まない信念をもって宣教する使徒となり、原始キリスト教が成立し、さらにキリスト教徒を迫害していたパウロが回心して異邦人伝道の使徒となることで、キリスト教がヘレニズム世界に広がるという歴史的展開を学ぶ。そして、弱かった弟子たちが何故に強い信念の使徒に変貌できたのかを考察する。また、パウロ書簡の言葉から、生きることの意義を追求するための思想を学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 1 導入:現代人とパウロ書簡の言葉 2 新約聖書の使徒言行録と書簡の概説 3 原始キリスト教の出発 4 ユダヤ教徒からの迫害、ステファノ殉教 5 迫害者パウロの回心 6 原始キリスト教のエルサレムとアンティオキア 7 パウロ第一次伝道旅行 8 パウロ第二次伝道旅行 9 パウロ第三次伝道旅行とローマへの旅 10 ペトロの殉教、パウロの殉教 11 ユダヤ戦争と原始キリスト教 12 原始キリスト教の発展 13 原始キリスト教と福音宣教 14 パウロ書簡より、愛の讃歌、苦しみの連帯 15 まとめ</p>				
<p>【テキスト】聖書、遠藤周作『キリストの誕生』(新潮文庫)</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】リアクションレポート45%、期末レポート55%</p>				

対面授業				15006
授業科目名: 英語学・言語学研究ⅣB			担当教員氏名: 齋藤 衛	
Research in English Linguistics ⅣB				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、移動現象、省略現象を含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の語順 2. 句構造規則と X' 理論 3. 句構造の精密化 I: CP 仮説 4. 句構造の精密化 II: DP 仮説 5. 日本語の自由語順 6. 比較構文と分裂文 7. 受身文 8. 省略現象に関する一般化 9. 日本語における NP 省略 10. VP 省略と TP 省略 11. 項省略仮説 12. VP 省略と TP 省略再考 13. 一致現象と項省略 14. 総復習 I 15. 試験 16. 試験解説 				
<p>【テキスト】 毎回、授業時にプリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 試験…80%、課題…20%</p>				

対面授業				15007
授業科目名: 英米文学研究 IIIA				担当教員氏名: 新野 緑
Research in British and American Literature IIIA				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 <『不思議の国のアリス』を読む> オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しい<教訓のない物語>である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介 2. Chapter 1: 地下の国とは 3. Chapter 1: アリスとは何者か 4. Chapter 2: パロディの意義 5. Chapter 3: イギリスの歴史 6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ 7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か 8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い 9. Chapter 7: 儀礼と意味 10. Chapter 7: 時間とは何か 11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育 12. Chapter 9: 言葉の変容 13. Chapter 11 & 12: 裁判の手順 14. Chapter 12: 夢と現実 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)				
<p>【テキスト】 Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p>				
<p>【参考図書】 教室で適宜紹介する</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30% 学期末試験 70%</p>				

対面授業				15008
授業科目名: 英米文学研究 IIIB			担当教員氏名: 新野 緑	
Research in British and American Literature IIIB				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 <肖像画と文学> 肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステータスを表すものとして貴族やジェントリーの屋敷に飾られてきた。18世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好んで取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18世紀から19世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループディスカッションを通して考えたい。</p>				
<p>【授業内容】 1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史 2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i> 3. クラスディスカッション 4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i> 5. クラスディスカッション 6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i> 7. クラスディスカッション 8. George Eliot, <i>Middlemarch</i> 9. クラスディスカッション 10. Robert Browning, "My Last Duchess" 11. クラスディスカッション 12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i> 13. クラスディスカッション 14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i> 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p>				
<p>【テキスト】 プリントを配布する</p>				
<p>【参考図書】 教室で適宜指示する</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 20% クラスディスカッションの成果とレポート 30% 学期末試験 50%</p>				

対面授業			15009
授業科目名: 古代文学特講 I		担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p>			
<p>【授業内容】 1 授業ガイダンス「訓む」と「読む」と・額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 2 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 3 「穂積皇子・但馬皇女歌群」①: 配列から考える「歌物語」 4 「穂積皇子・但馬皇女歌群」②: 但馬皇女の「朝川渡る」 5 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 6 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 7 大和三山の歌①: 三首の疑問 8 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 9 天平時代のサラリーマン事情: 生活の場と出世への遠い道のり 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 「梅花の宴」①: 「令和」の出典歌を讀解する 13 「梅花の宴」②: 大伴旅人と山上憶良の憶い 14 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「菟原処女伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・総括</p>			
<p>【テキスト】 ＜必携書＞ 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房 1998 年) ISBN: 978-4827300819</p>			
<p>【参考図書】 ＜参考書等＞ 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA 2021 年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>			

対面授業				15010
授業科目名: 古代文学特講Ⅱ			担当教員氏名: 東城 敏毅	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2～4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業は、『古事記』神話の基礎的な知識を習得し、日本神話の特色を理解することを目的とする。特に上巻の神話部分を中心に読解し、世界の神話とも比較しながら、古代人のものの考え方や価値観について考えるとともに、日本文学史上における神話の位置付けについても考察する。また多くの注釈書や研究史を概観し、作品を多角的に捉える視点を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業ガイダンス 2 創成神話:「天地初発之時」 3 造化三神:タカミムスヒとカミムスヒ 4 イザナキ・イザナミ神話①:二神の結婚・国生み 5 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(1) 6 イザナキ・イザナミ神話②:黄泉国(2) 7 三貴子の誕生:アマテラス・ツクヨミ・スサノヲ 8 アマテラス神話①:誓約 9 アマテラス神話②:天の岩屋 10 スサノヲ神話①:スサノヲの追放とオホゲツヒメ 11 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(1) 12 スサノヲ神話②:ヤマタノヲロチ(2) 13 出雲神話①:「稲羽の素戔」とオホクニヌシ 14 出雲神話②:根の堅洲国 15 授業の総括 				
<p>【テキスト】 <必携書> 中村啓信訳注『新版 古事記』(角川ソフィア文庫 2009年)ISBN:978-4044001049</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> この史代『ぼおるぺん 古事記』天の巻・地の巻・海の巻(平凡社、2013-2014年) その他、授業中に適宜紹介する。 なお、教材としてレジュメを随時配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 60% 学期末レポート 40%</p>				

対面授業				15011
授業科目名: 古代文学特講Ⅲ			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5人
<p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 古筆切1—概説— 3 古筆切2—和歌切— 4 古筆切3—物語切— 5 源氏物語の写本1—概説— 6 源氏物語の写本2—青表紙本系— 7 源氏物語の写本3—その他— 8 中間まとめ 9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界— 10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集— 11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統— 12 源氏物語の古注釈2—その他— 13 文学と教育1 14 文学と教育2 15 1期まとめ</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院 『古典文学研究の視角』 大学教育出版</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業				15012
授業科目名: 古代文学特講IV			担当教員氏名: 中井 賢一	
Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5人
<p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに継承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 無名草子1—概説— 3 無名草子2—源氏物語論— 4 無名草子3—その他— 5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語— 6 源氏物語と後期物語2—夜の寝覚— 7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他— 8 中間まとめ 9 源氏物語の続編・偽作 1—概説— 10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①— 11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②— 12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③— 13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①— 14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②— 15 2 期まとめ</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 特になし。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p>				
<p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p>				

対面授業				15013
授業科目名: 中世文学特講 I			担当教員氏名: 江草 弥由起	
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では、『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、『新古今和歌集』の歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧的と評される新古今時代の和歌を楽しめる感性を養ってもらいたい。</p>				
<p>【授業内容】 1. 勅撰和歌集について 2. 後鳥羽院について 3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命 4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ 5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』 6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院 7. 和歌の鑑賞② 藤原定家 8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆 9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経 10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親 11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具 12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女 13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王 14. 和歌の鑑賞⑨ 西行 15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等></p>				
<p>【成績評価の方法】 小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15014
授業科目名: 中世文学特講Ⅱ				担当教員氏名: 江草 弥由起
Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は、平維盛、平資盛、平重衡などの平家の公達らの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点が特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p>				
<p>【授業内容】 1. 『平家公達草紙』の基礎知識 2. 「内裏近き火」 3. 「青海波」① 4. 「青海波」② 5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」 6. 「公達の盗人」① 7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。 8. 「かたのまもり」 9. 「秋のみやまのもみじ葉」 10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」① 11. 「建春門院の面影」② 12. 「重衡とその想い人たち」① 13. 「重衡とその想い人たち」② 14. 「東北院の遊び」 15. 「隠れ蓑の中將」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等></p>				
<p>【成績評価の方法】 小テスト及び定期試験 (manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p>				

対面授業				15015
授業科目名:近代文学特講 I				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】</p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 坪田譲治年譜による作家理解 3 作品と同時代および風土について 4 坪田譲治の作品理解 5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表) 6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」 7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説 8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」 9 小説「風の中の子供」および 8 の解説 10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」 11 10 の解説および期末レポート課題の説明 12 同時代資料を使った小説の読解 13 同時代資料を使った童話の読解 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 作品分析と作家理解について 期末レポート本提出 				
<p>【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業				15016
授業科目名:近代文学特講Ⅱ				担当教員氏名:山根 知子
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】</p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 宮沢賢治年譜による作家理解 3 作品と同時代について 4 作品と風土について 5 宮沢トシ「自省録」 6 童話「虔十公園林」 7 童話「めくらぶだうと虹」 8 童話「アラムハラドの見た着物」 9 童話「ひかりの素足」 10 童話「マグノリアの木」 11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程 12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造 13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界 <p>期末レポート本提出</p>				
<p>【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付</p>				
<p>【参考図書】 なし</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p>				

対面授業			15017
授業科目名:近代文学特講Ⅲ		担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ			
履修年次 2～4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p>			
<p>【授業内容】 1 イン트로ダクション(導入と授業の進め方) 2 太宰治の生涯について 3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開) 4 前期文学の特徴 5 中期文学の特徴 6 後期文学の特徴 7 前期作品の読解① 8 前期作品の読解② 9 中期作品の読解① 10 中期作品の読解② 11 太宰治と戦争 12 後期作品の読解① 13 後期作品の読解② 14 太宰治とキリスト教 15 太宰治の死と戦後</p>			
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>			
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>			

対面授業				15018
授業科目名:近代文学特講IV			担当教員氏名:長原 しのぶ	
Special Lecture on Modern Japanese Literature IV				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p>				
<p>【授業内容】 1 インTRODクシヨN(導入と授業の進め方) 2 文学研究の方法から探るマンガの世界① 3 文学研究の方法から探るマンガの世界② 4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について 5 文学とマンガ—太宰治・泉鏡花 6 作品読解① 7 作品読解② 8 文学とアニメ—堀辰雄・梶井基次郎 9 作品読解③ 10 作品読解④ 11 文学と映画—松本清張・太宰治 12 作品読解⑤ 13 作品読解⑥ 14 メディア拡大する教科書の中の作家達① 15 メディア拡大する教科書の中の作家達②</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p>				

対面授業				15019
授業科目名: 日本語学特講Ⅲ			担当教員氏名: 星野 佳之	
Special Lecture on Japanese Linguistics Ⅲ				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。 今年度は、例示の「副助詞」類としてデモ、アタリ、ヤコ(一)、バシなどが、どのような体系を成しているかを考察する。</p>				
<p>【授業内容】 第1回 「法」という範疇 第2回 品詞について 第3回 述語について 第4回 副助詞と係助詞について 第5回 副助詞各論 1 第6回 副助詞各論 2 第7回 副助詞各論 3 第8回 副助詞各論 4 第9回 副助詞各論 5 第10回 副助詞各論 6 第11回 副助詞各論 7 第12回 副助詞各論 8 第13回 副助詞各論 9 第14回 副助詞各論 10 第15回 副助詞各論 11 定期試験</p>				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 ●国立国語研究所のコーパスWebアプリ『中納言』の利用が必須。受講する場合は利用申請を行うこと。 https://chunagon.ninjal.ac.jp/auth/login?service=https%3A%2F%2Fchunagon.ninjal.ac.jp%2Fj_spring_cas_security_chec</p>				
<p>【成績評価の方法】 定期試験として、期末レポートを課す。</p>				

対面授業				15020
授業科目名:ジェンダー論			担当教員氏名:山下 美紀	
Gender Studies				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義では、日常生活において自明視されている「ジェンダー」や「性」にまつわるさまざまな常識・社会現象や社会問題を取り上げ、検討を加える。ジェンダーに関する基本的な理解を深め、さらに、社会・文化的な性のありようを作り出している構造を解き明かし、現代的課題を提示する。</p>				
<p>【授業内容】 1. 授業の概要説明 2. 「ジェンダー」研究の誕生と発展 3. ジェンダー論の基礎① セックスとジェンダー・グループディスカッション 4. ジェンダー論の基礎②ジェンダーとは何か 5. ジェンダー論の基礎③第1波フェミニズム 6. ジェンダー論の基礎④第2波フェミニズム 7. ジェンダーの社会的構築 8. ジェンダー秩序とジェンダー体制・中間試験 9. ジェンダーの再生産 10. 子ども期のジェンダー 11. メディアとジェンダー 12. 青年期のジェンダー 13. 日常生活のなかのジェンダー 14. 男性学とジェンダー・中間試験 15. 現代社会とジェンダー</p>				
<p>【テキスト】 使用しません</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 参考文献・資料等については講義中に指示する。 適宜資料を配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 課題レポート:10% 期末レポート:30% 中間試験2回実施:60%</p>				

対面授業				15021
授業科目名: 地域社会学 I			担当教員氏名: 二階堂 裕子	
Regional and Community Studies I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義の目的は、現代における地域社会の諸問題への関心と理解を深めること、そして、新たな社会システムの構築に向けて、今後、私たちが取り組むべき課題とは何かを考察することにある。まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちを学ぶ。そのうえで、戦後の高度経済成長期に日本の都市化がどのように進み、地域社会における人々の関係がどのように変容したのかを理解する。さらに、少子高齢化の進行、地方都市における衰退、安全・安心をめぐる危機の深刻化、グローバル化の進展などの社会変動が、今日の地域社会にどのような問題を生み出しているのかについて検討する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会とコミュニティ 2. コミュニティ問題の登場 3. 都市化と地域社会における変容 4. 町内会とコミュニティ形成 5. コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係 6. コミュニティ・センター 7. コミュニティ活動 8. 子育てと地域社会 9. 高齢化と地域社会 10. 中山間地域における過疎化 11. 地方都市の衰退と再生 12. インナーシティ問題の発生 13. 安全・安心な生活と地域社会 14. グローバル化と地域社会 15. 多民族・多文化化とコミュニティ形成 				
<p>【テキスト】 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 毎回の小課題(授業で学んだことや意見): 30% 期末レポート: 70%</p>				

対面授業				15022
授業科目名:社会心理学			担当教員氏名:中山 ちなみ	
Social Psychology				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	定員 5 人
<p>【授業の目的】 社会心理学における基礎概念や重要研究を解説・紹介し、具体的な事例と関連させながら、人間関係や社会事象について考察してゆく。この考察を通して、「社会的存在」としての人間の意識や行動が、どのように形成され、どのような社会的現象となって現れるのかというメカニズムを理解し、自己および人間・社会への洞察を深める。</p>				
<p>【授業内容】 1 インTRODクシヨN 2 社会の中の「私」 3 自己の2 側面 4 行為と意識 5 意識の基本構造 6 行為の意図せざる帰結 7 欲求 8 態度とは 9 態度の一貫性の諸理論と事例 10 社会心理学における実験の位置づけ 11 対人魅力の決定要因 12 援助行動 13 リーダーシップ 14 社会的ジレンマ 15 まとめ 定期試験(筆記試験)</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> テキストは特に指定しない。ほぼ毎回プリントを配付する。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 授業中にその都度、紹介する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 筆記試験:70% 課題レポート:10% リアクションペーパー:20%</p>				

対面授業			15023
授業科目名: 社会集団・組織論			担当教員氏名: 濱西 栄司
Social Groups and Organizations			
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ
<p>【授業の目的】 本授業の主な目的は、社会学の基礎理論の一つである「社会集団・組織論」の理解を通して、現代社会を捉えるための基本的な視座や技法を修得することにある。授業の前半では、経済・政治をめぐる代表的な社会組織（「会社」、協同組合、行政組織、国際機関、NPO・NGO など）を、その近現代史と絡めつつ学ぶ。後半では、多様な社会現象を、集団・組織の戦略的活動や組織関係の現れとして分析していく基本的な視座・技法を修得していく。</p> <p>授業では主に Google Classroom を用いて各回の自学習やフィードバック、期末レポートの管理を行う。また自学習を前提として、隣席学生同士（2~3 名）で簡単に意見交換する時間を設けるようにしている。</p>			
<p>【授業内容】 1. オリエンテーション: 社会学と社会集団・組織論 <第 I 部 現代の代表的組織> 2. 類型とアソシエーション ——経済: 会社とそれ以外—— 3. 「会社」の近現代史 4. 企業倫理と企業の社会的責任 (CSR)、SDGs 5. 同業組合/労働組合の近現代史 6. 労働組合の現在とこれから 7. オルタナティブとしての協同組合 8. NPO、社会的企業、ソーシャル・ベンチャー ——政治: 国家と運動—— 9. 近代国民国家の形成 10. グローバル・ガヴァナンス 11. 業界団体と社会運動 <第 II 部 組織の研究> 12. 社会学的組織研究: フリーライダーと集合行為論 13. 社会学的組織研究: 資源動員論 14. 社会学的組織研究: 事例・問題からのアプローチ 15. まとめとこれから</p>			
<p>【テキスト】 毎回、レジュメを配布する</p>			
<p>【参考図書】</p>			
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み: 30% 確認テスト: 30% 期末レポート: 40%</p>			

対面授業			15024
授業科目名: 宗教社会学		担当教員氏名: 福田 雄	
Sociology of Religion			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 「宗教的な意味」を持つ行為は、何も特定の宗教的場面に限られるものではなく、私たちが日常生活の中であまり意識することなく繰り返し行っている習慣や、災害に襲われたときに夢中で行っている行為の中などに、数多く見られます。 本授業では、宗教と社会の関係について、できるだけ身近な振る舞いや具体的な事例を手掛かりにして掘り下げ、現代社会を理解するための技能を修得します。私たちにとって宗教はどのような意味を持つのかというテーマにかんする知識を、全 15 回の授業を通して学びます。 前半では、今日的なトピックに関連させながら宗教社会学の視点を理解してもらいます。後半では、苦難という観点に焦点を当てながら、事例研究や古典的研究を学びます。</p>			
<p>【授業内容】 1. イントロダクション 2. 初詣は「宗教」か？ 3. 「宗教」とは何か？ 4. 宗教の定義とその目的 5. 折り鶴を燃やすことはなぜ悪か？ 近代社会の聖なるもの 6. 生きることを強いることはいかに可能か？ 諸外国の事例 7. 生きることを強いることはいかに可能か？ 日本の事例 8. なぜ災いをもたらされたのか？ 永井隆の燔祭説 9. なぜ災いをもたらされたのか？ 燔祭説への批判とその社会的文脈 10. 津波の意味づけ スマトラ島沖地震の津波記念式典 11. 津波の意味づけ 東日本大震災の慰霊祭・追悼式 12. 「無宗教」式の慰霊行事 長崎市原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 13. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「天職」概念 14. 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」における「予定説」 15. まとめと振り返り</p>			
【テキスト】			
<p>【参考図書】 福田雄 2020 『われわれが災禍を悼むとき——慰霊祭・追悼式の社会学』慶應義塾大学出版会 (ISBN 978-4-7664-2654-0)</p>			
<p>【成績評価の方法】 定期試験(90%) リアクションペーパー(10%)</p>			

対面授業				15025
授業科目名:社会学特講 B(災害社会学)			担当教員氏名:福田 雄	
Special Topics in Sociology B				
履修年次 2~4	2 単位	2期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義は、災害というテーマのもとに、現代社会に関する知識を学びます。具体的には、関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災といった日本の災害を中心としてとりあげ、これらの災害を研究対象とした論文や文献を紹介します。授業では、多角的な視点をもって、これまでの災害研究を批判的に検討する姿勢、そして震災後の社会の成り立ちと仕組みを見通す視野を身につけます。</p>				
<p>【授業内容】 1. イントロダクション 2. 「災害」とはなにか 出来事、災害因、社会現象 3. 新しい災害とその特徴 4. 近代日本の災害とその特徴 5. 災害後の流言とデマ 6. 災害とモニュメント 7. 災害と儀礼・祭・復興イベント 8. 災害と伝統知・伝統行事 9. 災害と復興事業 10. 災害とコミュニティ活動 11. 災害と外国人、ジェンダー 12. 災害とアート 13. 災害と向き合う行為 14. 災害とソーシャルキャピタル 15. 振り返りとまとめ 試験等</p>				
【テキスト】				
<p>【参考図書】 植田今日子『存続の岐路に立つむら』昭和堂 ダニエル・アルドリッチ 『災害復興におけるソーシャル・キャピタルの役割 とは何か』ミネルヴァ書房など</p>				
<p>【成績評価の方法】 期末レポート(80%) リアクションペーパー(20%)</p>				

対面授業			15026
授業科目名: 日本社会史 II		担当教員氏名: 久野 洋	
Social History of Japan II			
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ
<p>【授業の目的】 本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的ありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的な話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p>			
<p>【授業内容】 1. はじめに 2. 徳川社会で生きる 3. 「徳川システム」のゆらぎ 4. 近世民衆の姿 5. 開国と幕末社会—地域の視点から— 6. 近代化と地方名望家 7. 近代化と地域の民衆 8. 明治社会を生きる 9. 「家」と農村の女性 10. 都市民衆騒擾の時代 11. 第一次世界大戦後の大衆社会化 12. 恐慌の時代 13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか 14. 総力戦体制下の矛盾 15. むすび</p>			
<p>【テキスト】 使用しない。</p>			
<p>【参考図書】 ・渡辺尚志『百姓のカー—江戸時代から見える日本—』(柏書房、2008 年／角川ソフィア文庫、2015 年) ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』(岩波ジュニア新書、2018 年) ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』(放送大学教育振興会、2015 年) ・大門正克『戦争と戦後を生きる』(小学館、2009 年) その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 期末試験ト 70% リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p>			

対面授業			15027
授業科目名: アジア社会史 I		担当教員氏名: 鈴木 真	
Social History of Asia I			
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ
<p>【授業の目的】 かつて中国には、千四百年にわたって実施された科挙と呼ばれる制度が存在した。この制度は王朝を支える官僚候補生の代表的な選抜・任用制度であったが、前近代中国社会における人びとの思想や文化・習俗を色濃く反映していた。そのため、なぜこのような制度が必要とされたのか、その制度とはいかなるものであったのか、そして人びとにどのような影響を及ぼしたのかという問題の解明は、中国の歴史・社会そのものを知ることに繋がる。以上のような問題意識のもと、本授業では科挙を題材としてとりあげ、古代～近代における儒教や知識人の世界を中心に講義する。</p>			
<p>【授業内容】 1. 中国社会における王朝と民衆とのかかわり 2. 県と郷村 3. 中国における官僚登用の歴史(1)——漢 4. 中国における官僚登用の歴史(2)——魏晋 5. 中国における官僚登用の歴史(3)——隋唐 6. 中国における官僚登用の歴史(4)——宋 7. 科挙合格と官僚任官による社会的成功 8. 士大夫の理念 9. 民衆と胥吏と官僚 10. 科挙合格までの長い道のり 11. 科挙の盛行と宗族の発展 12. 宗祠・族譜・義荘 13. 科挙と移住 14. 科挙の廃止と近代中国 15. 科挙は近現代の中国社会に何をもたらしたか</p>			
【テキスト】			
<p>【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。また毎回資料プリントを配付する。</p>			
<p>【成績評価の方法】 小レポート: 10% 期末試験: 90% (持込み不可の長文論述試験を、対面でおこなう)</p>			

対面授業				15028
授業科目名:ヨーロッパ社会史 I			担当教員氏名:轟木 広太郎	
Social History of Europe I				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 古代から現代にかけて、ヨーロッパ社会史のさまざまなテーマを取り上げる。前半から中盤にかけては、古代から現代にいたるまで時代別に固有のテーマを設定するが、後半は、アナール学派の代表的歴史家のある研究を詳細に紹介するという形式で進める。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代末期の社会史; 殉教者崇敬 2. 中世の社会史; 聖遺物崇敬のはじまり 3. 中世の社会史; 聖遺物崇敬の発展 4. 中世の社会史; 修道生活 5. 中世の社会史; 騎士と封建社会 6. 中世の社会史; 騎士文化 7. アンシャンレージュムの社会史; 近世における国王儀礼 8. アンシャンレージュムの社会史; ガリカニズムのもとでのカトリック教会 9. フランス革命の社会史; 非キリスト教化 10. フランス革命の社会史; 習俗の革命 11. フランス革命の社会史; 革命祭典 12. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 中世 13. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近世 14. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近代 15. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 現代 				
<p>【テキスト】 毎回の授業で資料教材を配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 平常点(15%) レポート(85%)</p>				

対面授業				15029
授業科目名: 考古学II			担当教員氏名: 紺谷 亮一	
Archeology II				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 オリент考古学についての基礎的知識の習得を図る。農耕の開始、都市の出現、文字の発明、交易網の整備等、人類史の主な出来事が、オリエンの地でおこったことを学ぶ。オリエンでの発掘調査の方法論の独自性を理解する。その一方で、日本考古学との相違点について理解する。そして、流動的な現代中東世界を理解するうえで、オリエン考古学の果たす役割について学ぶ。</p>				
<p>【授業内容】 1 講義概要 2 古代オリエンの地理学的概念 3 新石器(農耕)革命 4 都市革命 5 文字の発明 6 交易の時代・青銅器の出現 7 帝国と鉄器の出現 8 オリエンの発掘史 1 9 オリエンの発掘史 2 10 オリエンの遺跡 1(ヒッタイト帝国の首都ハットウシャ) 11 オリエンの遺跡 2(ホメロスの伝説都市トロイ) 12 オリエンの遺跡 3(アッシリア王の都ニルムド) 13 トルコにおける考古学調査 14 オリエン考古学に携わった人々(アラビアのロレンス、アガサ・クリスティ等) 15 総括</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 『西アジア考古学講義ノート』, 西アジア考古学講義ノート編集委員会, 西アジア考古学会、2013 年</p>				
【参考図書】				
<p>【成績評価の方法】 レポート(2 回) 50% ノート提出 50%</p>				

対面授業				15030
授業科目名:国際関係論			担当教員氏名:土佐 弘之	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義では、複雑な国際政治や国際関係を認識し働きかけるための道具として、これまで培われてきた理論的視座を提供するとともに、そのような視座と関連の深い現象について取り上げ検討する。国際関係に関する多様な視点や論理を学び、また我々の日々の生活にも大きな影響を及ぼしかねない現象について認識を深めることを通じて、国際情勢についての単に情勢認識を行うことができるようになるだけでなく、自分の頭で国際政治・国際関係について考察し、個人や市民の立場からグローバルに考え、かつ自分の活動する場(ローカル)から働きかけるための知識を身につける。</p>				
<p>【授業内容】 第1部: 国際関係諸理論 1 導入:国際関係史の推移(歴史的文脈) 2 国際関係理論① リアリズム 3 国際関係理論② リベラリズム 4 国際関係理論③ 社会構成主義 5 国際関係理論④ マルクス主義 6 国際関係理論⑤ フェミニズム 7 国際関係理論⑥ ポストコロニアリズム 8 国際関係理論⑦ ポスト構造主義 9 国際関係理論⑧ 倫理的アプローチ</p> <p>第2部: 国際関係の諸問題 10 地球環境問題① 気候変動 11 地球環境問題② 生物多様性喪失 12 地球環境問題③ 人新世と人間中心主義 13 難民問題 14 ナショナリズム、ポピュリズム、デモクラシー 15 人権問題</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> テキストは特に指定しない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 参考文献として、J.Baylis, S.Smith and P. Owen (eds.) <i>The Globalization of World Politics</i>. 9th ed. Oxford University Press.</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義への参加の積極性と小テスト: 50% レポート: 50%</p>				

対面授業				15031
授業科目名: 平和学			担当教員氏名: 土佐 弘之	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	2 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本講義においては、平和学がこれまでに積み重ねてきた知に触れ、これらの問題に対するアプローチを探ります。これによって国際社会に生じる問題に主体的に取り組む姿勢を身につけます。現代世界では、平和をめぐる問題の構造が大きく変化しつつある。冷戦期のように人類を一瞬にして絶滅させてしまうような大規模な戦争の危険は小さくなったが、従来の方法では対処しがたい種類の暴力が世界の多くの場所で発生している。ひと言でいえば、国家による軍事力の行使の独占を可能にしていた構造が徐々に崩れ、多様な主体に暴力手段が拡散するとともに、暴力が不合理な形で暴発する状況が生まれている。こうした状況で、米国をはじめとする先進国は、軍事力に過度に依存した対応を選択してきた。そのことが、暴力への対処を困難にしてきた。では、新しい形の暴力に対処するためにはどうすればよいのだろうか？ その答えを見いだすことは容易ではない。しかし、これまでの平和や安全に関する考え方を根本的に再検討し、世界全体の政治経済システムの歴史や構造を現代における暴力と関連づけつつ、幅広い視点から体系的に考察を進めなければならないことは明らかである。本講では、上記のような問題関心から、現代世界の多様な暴力の原因を理解し、それらに対処する方法を模索するための素材を提供することを目的としている。まずは問題の現状を知るところから始め、原因の分析、様々な対処方法とそれに携わる人々の思想や運動を知るという順序で講義を進める。</p>				
<p>【授業内容】 1 導入: 平和研究の誕生・特徴・基本課題とその推移 2 国家間戦争の原因と平和のための制度 3 核時代の意味と冷戦下の世界的対立の構造 4 現代の紛争(1)核をめぐる現代の政治経済構造 5 現代の紛争(2)国家の崩壊と内戦の政治経済学 6 現代の紛争(3)暴力の民営化とテロリズム 7 テロリズムに対する戦争と構造化された暴力 8 国際政治経済体制と構造的暴力 9 開発と人権——平和への新しいアプローチ 10 平和を作る運動(1)人権と平和 11 平和を作る運動(2)非暴力抵抗の思想と実践 12 平和を作る運動(3)開発 NGO とエンパワメント 13 グローバルなアパルトヘイトと平和 14 理論的考察——国家・暴力・平和・民主主義・人権 15 総括</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 主たる参考文献として Oliver Richmond, <i>Peace in International Relations</i>. Routledge, 2008. その他の参考文献・資料については適宜紹介、配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義への参加の積極性と小テスト: 50% レポート: 50%</p>				

対面授業				15032
授業科目名: 華僑華人論			担当教員氏名: 陳 來幸	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 華僑華人社会の形成は古くは 10 世紀に始まる宋時代に遡るとされるが、東アジア経済が銀を通じて互いにリンクされはじめた近世に入り、アジア各地に広く形成された。19 世紀に入り再び海外移民のピークが訪れ、アメリカ大陸や大洋州にも向かうようになった。中国の改革開放後の昨今、再び多くの新華僑が先進国に向かっている。華僑華人問題は古くて新しい問題である。本講義では、近代以降現在にいたる日本、朝鮮半島、東南アジア各地、大洋州、アメリカ大陸など異なる地域や国家毎にマイノリティーとして存在する華僑華人社会の変容過程を紹介し、華僑華人ネットワークの実態を知るとともに、各地に根を生やした華僑華人がその国の制度や風土によってどのように変化したのかについて比較分析の視点を獲得し、その社会的役割を理解する。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論: 問題の所在 2. 会館・公所の発生と変容: 商会システムの導入と浸透 3. 華僑華人のディアスポラ: 世界華商大会と現在 4. 日本の華僑華人(1): 伝統祭祀 5. 日本の華僑華人(2): 社会変容と特色 6. 朝鮮半島の華僑華人: 錯綜する帰属意識 7. 戦後北東アジアの華僑華人 8. ディスカッション 9. アメリカ・オーストラリアの華僑華人 10. 東南アジアの華僑華人(1): 島嶼部 11. 東南アジアの華僑華人(2): 大陸部 12. 中国の華僑・華人政策 13. 金門ネットワークを考える 14. 客家ネットワークを考える 15. 新華僑の時代 				
<p>【テキスト】 <必携書> 特にテキストは指定しない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義へ積極的な安価およびパフォーマンス: 30% 課題レポート: 70%</p>				

対面授業				15033
授業科目名:グローバル化と人の移動			担当教員氏名:八尾 祥平	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 人やモノ、そして、通貨や情報が国境を越えて移動するグローバル化の時代とは何かを、ミクロレベルでの人の移動に焦点を当てて解説します。講義では、まず、移民という現象を理解するための枠組みを主に社会学の知見を用いて解説した上で、グローバルな人の移動が実は近代という比較的長い時代のスパンの中で過去にも見られた現象であるという歴史的な視座も養います。こうした人の移動に関する理論と歴史を概観したうえで、移民の目には社会がどのように映っているのかを解説し、多文化共生論を、理想論としてではなく、地に足の着いた議論をするために最も大切な視座を養います。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル化と移民についての現状と展望 2. 理論Ⅰ 近代社会とは何か 3. 理論Ⅱ 移民をめぐる社会学 4. 理論Ⅲ ポストコロナリズムの潮流 5. 理論Ⅳ 植民地からの近代化 6. 移民の歴史Ⅰ アメリカ大陸とプランテーション農業 7. 移民の歴史Ⅱ アジアからアメリカへ 8. 移民の歴史Ⅲ 黄禍論の時代 9. 沖縄Ⅰ 沖縄の近現代史 10. 沖縄Ⅱ 沖縄をめぐる移民と文学 11. 台湾Ⅰ 台湾をめぐる近現代史 12. 台湾Ⅱ 台湾をめぐる移民と文学 13. 朝鮮Ⅰ 朝鮮の近現代史 14. 朝鮮Ⅱ 朝鮮をめぐる移民と文学 15. 移民から日本社会を展望する 				
<p>【テキスト】 <必携書> 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み姿勢(質疑応答の積極性・リアクションペーパーの提出): 20% 中間レポート: 40% 期末試験: 40%</p>				

対面授業				15034
授業科目名: 身体表象論			担当教員氏名: 松平 勇二	
(英語表記)				
履修年次 2~4	2 単位	1 期	1コマ	
<p>【授業の目的】 20 万年に及ぶ人類の歴史の中で、文字が使われるようになってからわずか数千年しかたっていない。絵画や彫像などの表象文化を除けば、情報伝達に関するコミュニケーションの大部分は身体的な表現によって担われてきたととらえられる。本講義では主にアフリカの音に関連する身体やパフォーマンスによるコミュニケーション(音文化:おんぶんか)、すなわち、音楽、舞踊、儀礼、口頭伝承などを事例に表象文化について議論する。そのうえで、現代日本社会における身体表象の事例と比較し、日本における特に音を用いたコミュニケーションについて再考する。デジタル化、非接触などが進展する現代社会における身体性のあり方について各自が考察し、議論できることを目指す。なお、本講義では文字によらない(音による)コミュニケーション、パフォーマンスについて学ぶため、成績評価は文字を用いないプレゼンテーション(パフォーマンス)で評価する。</p>				
<p>【授業内容】 第 1 回 音楽を起点に身体表象を考える—音文化の一部としての音楽 <音楽の構造> 第 2 回 アフリカの歴史・自然環境と音楽 第 3 回 ラメラフォンの楽器構造—音階と調律 第 4 回 ラメラフォンの楽曲構造—クロスリズムと和音 第 5 回 ラメラフォンの合奏様式—コールアンドレスポンス <音としての言葉の特性> 第 6 回 口頭伝承分析—話し言葉と書き言葉 第 7 回 ディスカッション—パフォーマンスとしての語り <表象文化としての宗教儀礼> 第 8 回 マンデ社会における音のコミュニケーションの位置づけ 第 9 回 全体的音楽環境としてのシヨナの憑依儀礼 第 10 回 儀礼の基層、シヨナのコスモロジー 第 11 回 音楽と政治—ジンバブエ解放闘争の音楽 第 12 回 身体表象とナシヨナリズム—ジンバブエにおける小学生の伝統舞踊全国大会を事例に <日本の音文化> 第 13 回 音文化としての日本の音楽、祭礼、日常の言葉を再考する 第 14 回 プレゼンテーションと総合討論1 第 15 回 プレゼンテーションと総合討論2</p>				
<p>【テキスト】 <必携書> 使用しない。</p>				
<p>【参考図書】 <参考書等> 参考文献・資料などは必要に応じて紹介し、配布する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 ディスカッション、質疑応答の積極性: 50% プレゼンテーション: 50%</p>				

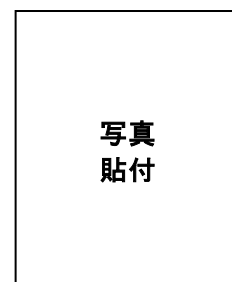
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心
女子大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		女		元号()	年
現住所	〒 - Tel() -				
メールアドレス	@				

* 履修受付締切日:前期:4月3日(木)まで 後期:9月11日(木)まで

* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
15001	キリスト教学Ⅰ	教養	山根 道公	2	2期	1~4	女子のみ	木 14:45~16:15		
15002	キリスト教学Ⅱ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	火 10:45~12:15		
15003	キリスト教学Ⅹ	教養	岡田 紅理子	2	1期	2~4	女子のみ	水 10:45~12:15		
15004	キリスト教学ⅩⅠ	教養	山根 道公	2	1期	1~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15005	キリスト教学ⅩⅥ	教養	山根 道公	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15006	英語学・言語学研究ⅣB	専門	齋藤 衛	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15007	英米文学研究ⅢA	専門	新野 緑	2	1期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15008	英米文学研究ⅢB	専門	新野 緑	2	2期	2~4	女子のみ	木 16:30~18:00		
15009	古代文学特講Ⅰ	専門	東城 敏毅	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15010	古代文学特講Ⅱ	専門	東城 敏毅	2	2期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
15011	古代文学特講Ⅲ	専門	中井 賢一	2	2期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15012	古代文学特講Ⅳ	専門	中井 賢一	2	1期	2~4	女子のみ	金 14:45~16:15		
15013	中世文学特講Ⅰ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	水 13:00~14:30		
15014	中世文学特講Ⅱ	専門	江草 弥由起	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15015	近代文学特講Ⅰ	専門	山根 知子	2	1期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15016	近代文学特講Ⅱ	専門	山根 知子	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15017	近代文学特講Ⅲ	専門	長原 しのぶ	2	1期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15018	近代文学特講Ⅳ	専門	長原 しのぶ	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15019	日本語学特講Ⅲ	専門	星野 佳之	2	2期	2~4	女子のみ	月 9:00~10:30		
15020	ジェンダー論	専門	山下 美紀	2	1期	2~4	女子のみ	月 13:00~14:30		
15021	地域社会学Ⅰ	専門	二階堂 裕子	2	1期	2~4	女子のみ	火 16:30~18:00		
15022	社会心理学	専門	中山 ちなみ	2	1期	2~4	女子のみ	火 9:00~10:30		
15023	社会集団・組織論	専門	濱西 栄司	2	1期	2~4	女子のみ	木 10:45~12:15		
15024	宗教社会学	専門	福田 雄	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15025	社会学特講B	専門	福田 雄	2	2期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15026	日本社会史Ⅱ	専門	久野 洋	2	2期	2~4	女子のみ	月 10:45~12:15		
15027	アジア社会史Ⅰ	専門	鈴木 真	2	1期	2~4	女子のみ	木 9:00~10:30		
15028	ヨーロッパ社会史Ⅱ	専門	轟木 広太郎	2	2期	2~4	女子のみ	火 13:00~14:30		
15029	考古学Ⅱ	専門	紺谷 亮一	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15030	国際関係論	専門	土佐 弘之	2	1期	2~4	女子のみ	水 9:00~10:30		
15031	平和学	専門	土佐 弘之	2	2期	2~4	女子のみ	火 14:45~16:15		
15032	華僑華人論	専門	陳 來幸	2	1期	2~4	女子のみ	木 13:00~14:30		
15033	グローバル化と人の移動	専門	八尾 祥平	2	1期	2~4	女子のみ	月 14:45~16:15		
15034	身体表象論	専門	松平 勇二	2	1期	2~4	女子のみ	木 14:45~16:15		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚